

市民病院

もともと耳寄り情報



市民病院  
☎ 66・2200

脳卒中手足の筋肉のつっぱり  
で不便を感じていませんか？

薬による後遺症の治療

脳卒中や多発性硬化症、せきずい損傷などが原因で、手足の筋肉がつっぱったり、こわばったりする後遺症（痙縮<sup>けいしゆく</sup>）を来すことがあります。痙縮の症状があると、痛みに悩まされたり、歩く・服を着る・物をつかむなどの日常生活に支障を生じます。高齢化が進む蒲郡市においては、介護の負担を増やす大きな原因ともなります。

後遺症の治療ではリハビリテーションが大切ですが、筋肉を緊張させている神経の働きを抑えるボツリヌストキシンという薬（ボツリヌス菌が産生する天然のたんぱく質）をこわばっている筋肉に注射するボツリヌス療法も有効です。当院ではボツリヌス療法を受けることができ、どの筋肉のこわばりが日常生活の妨げとなってい

るのかを検討し治療計画を立てます。保険適応になっている治療法で、身体障害認定1・2級を認定されている方は医療費の自己負担分が減免される可能性があります。

筋肉のこわばりが軽減することで、患者さんにとっては痛みが軽減し動きやすくなり、介護者にとってはおむつ交換や着衣交換時の負担が軽減できます。

興味のある方は、脳神経外科外来にお問い合わせください。

痙縮（けいしゆく）

- 筋肉が緊張しすぎてしまう状態で、手足がこわばったり、つっぱったりします。



- 片まひと同じ側の手足にあらわれることがほとんどです。

病院ボランティアを募集しています！

患者さんとふれあう・見守る

市民病院では、正面玄関などで病院ボランティアの皆さんが車椅子利用の方への介助や診療科への案内などを行っています。

今回、患者さんとふれあいながら、安心して治療できるように見守っていただく「病院ボランティア」を募集します。

活動時間 平日 午前9時～11時30分  
(外来診療日のみ)

活動回数 月に数回程度

内容 ・受付・診療科などへの案内  
・車椅子利用時の介助 など

申し込み 8月31日(木)までに直接  
または電話で市民病院へ。

【ボランティアさんより】

受付・車イス補助など患者さんの安全に気をつけています。患者さんから「ありがとう」といわれると、うれしいですね。



医療機関の使い分け

かかりつけ医を持ちましょう

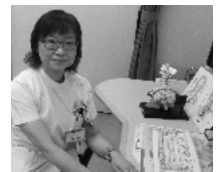


先生に聞いてみた！



インタビューバトン

第5回 脳神経外科 部長 神田佳恵



Q 先生の出身は？

A 岡山県津山市で生まれ、知立市、江南市、丹羽郡大口町で育ちました。

Q 先生が脳神経外科の医師を志した理由は？

A 大学で文学部なのに脳生理学を学び、脳疾患への移植治療に興味を持ったことがきっかけです。

Q 市民病院脳神経外科の特色は？

A 医師全員が日本脳神経外科学会認定専門医の資格を持ち、24時間初診から対応しています。

Q 脳卒中とはどのような病気ですか？

A 脳の血管が切れる脳出血と、脳の血管が詰まる脳梗塞の総称で、突然、意識障害・麻痺・失語を来す病気です。

Q 脳卒中の初期にはどんな症状がありますか？

A 突然強い頭痛を感じたり、体の片側に脱力やしびれを来したり、ろれつが回らなくなります。

Q 患者さんや地域の方々にひとこと

A 手術を要する脳疾患は、当院で適切な治療ができるように、開頭手術・カテーテル手術・放射線手術の最新設備と技術を整えています。安心して治療を受けてください。

次回は眼科の先生です